

## 平成23年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年12月30日

上場会社名 株式会社 シベール

上場取引所 大

コード番号 2228 URL <http://www.cybele.co.jp/>

(氏名) 佐島清人

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 本田政信

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

TEL 023-689-1131

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年8月期第1四半期の業績(平成22年9月1日～平成22年11月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年8月期第1四半期	848	0.5	△34	—	△37	—	△41	—
22年8月期第1四半期	843	0.8	△83	—	△86	—	△56	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
23年8月期第1四半期	円 銭 △2,320.75	円 銭 —
22年8月期第1四半期	円 銭 △3,136.61	円 銭 —

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
23年8月期第1四半期	百万円 4,764	百万円 2,692	% 56.5	円 銭 149,025.16
22年8月期	百万円 4,852	百万円 2,794	% 57.6	円 銭 154,686.46

(参考) 自己資本 23年8月期第1四半期 2,692百万円 22年8月期 2,794百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
22年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3,000.00	円 銭 3,000.00
23年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3,000.00	円 銭 3,000.00
23年8月期 (予想)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3,000.00	円 銭 3,000.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年8月期の業績予想(平成22年9月1日～平成23年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,182	6.6	158	73.4	155	82.3	70	59.4	3,874.25
通期	4,305	6.9	307	63.4	300	70.6	145	80.5	8,025.24

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手續、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年8月期1Q	18,068株	22年8月期	18,068株
② 期末自己株式数	23年8月期1Q	一株	22年8月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年8月期1Q	18,068株	22年8月期1Q	18,068株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
【第1四半期累計期間】 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 繼続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における我が国経済は、政府の月例経済報告によりますと、景気は、このところ足踏み状態となっており、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にあると判断されております。当社が依存している個人消費につきましても実質消費支出や小売業販売額が減少に転じ、持ち直しているものの一部に弱い動きも見られ、消費者マインドは弱含みで推移しているとされております。

このような経営環境の下、当社では、平成22年9月にモバイルサイトを開設、またインターネットサイトも同時にリニューアルすることによって、一層伸び行くEC分野に注力致しました。

商品面では、季節限定のラスクの投入や山形・宮城県産の原材料の使用などに努めて参りました。

また、同月、初めて「ラスク工場祭」を開催し、地域に根ざした活動を推し進めました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は、前年同期に比べ0.5%增收の848百万円となりました。損益につきましては、原価率の低減と販売費及び一般管理費が減少したことから、営業損失は34百万円(前年同期は83百万円の営業損失)、経常損失は37百万円(前年同期は86百万円の経常損失)と赤字ではあるものの大幅に改善することができました。また、当第1四半期会計期間より、資産除去債務会計基準の適用に伴なう影響額として特別損失に9百万円を計上しており、四半期純損失は41百万円(前年同期は56百万円の四半期純損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

総資産は4,764百万円となり、前事業年度末に比べ88百万円の減少となりました。主に売掛金が36百万円増加したものの、現金及び預金が129百万円減少したことによるものであります。

##### (負債)

負債合計は2,071百万円となり、前事業年度末に比べ13百万円の増加となりました。流動負債合計が3百万円減少しましたが、資産除去債務の計上等により固定負債合計が16百万円増加しております。

##### (純資産)

純資産は2,692百万円となり、前事業年度末に比べ102百万円の減少となりました。これは、四半期純損失の計上41百万円、剰余金の配当54百万円の実施及びその他有価証券評価差額金が6百万円減少したことによるものであります。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ219百万円減少し、243百万円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次の通りであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、56百万円となりました。これは主に、売上債権の増加額39百万円、未払消費税等の減少額38百万円により資金が減少しましたが、一方で賞与引当金の増加額21百万円により資金が増加したことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、123百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出90百万円、有形固定資産の取得による支出7百万円、無形固定資産の取得による支出25百万円があったことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、39百万円となりました。これは、配当金の支払額が29百万円、長期借入金の返済による支出が9百万円あったことによるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

通常の業績予想につきましては計画に大きな変動が無いことから、平成22年9月30日付「平成22年8月期決算短信(非連結)」に記載の業績予想と変更はありません。

## 2. その他情報

### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 簡便な会計処理

- ・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

- ・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

- ・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前事業年度において使用した将来の業績予測やタスク・プランニングを利用する方法によっております。

#### ② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第1四半期会計期間の営業損失及び経常損失が326千円、税引前四半期純損失が9,837千円増加しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は26,359千円であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	393, 126	522, 647
売掛金	141, 129	104, 561
たな卸資産	102, 472	83, 258
その他	63, 387	52, 270
貸倒引当金	△1, 941	△1, 470
流動資産合計	698, 174	761, 266
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1, 986, 645	1, 993, 188
機械及び装置（純額）	205, 945	219, 571
土地	1, 165, 763	1, 165, 763
その他（純額）	236, 455	251, 088
有形固定資産合計	3, 594, 809	3, 629, 611
無形固定資産	122, 268	106, 518
投資その他の資産		
投資有価証券	100, 116	106, 809
その他	249, 256	248, 785
貸倒引当金	△97	△102
投資その他の資産合計	349, 276	355, 491
固定資産合計	4, 066, 354	4, 091, 622
資産合計	4, 764, 529	4, 852, 889
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	114, 830	104, 799
1年内返済予定の長期借入金	416, 168	416, 168
未払金	196, 060	128, 640
未払法人税等	28, 994	96, 274
賞与引当金	42, 000	21, 000
ポイント引当金	16, 351	17, 972
その他	43, 219	75, 827
流動負債合計	857, 623	860, 682
固定負債		
長期借入金	1, 182, 244	1, 191, 736
資産除去債務	26, 479	—
その他	5, 595	5, 595
固定負債合計	1, 214, 318	1, 197, 331
負債合計	2, 071, 942	2, 058, 013

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	488, 355	488, 355
資本剰余金	554, 141	554, 141
利益剰余金	1, 701, 284	1, 797, 419
株主資本合計	2, 743, 780	2, 839, 915
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△51, 193	△45, 040
評価・換算差額等合計	△51, 193	△45, 040
純資産合計	2, 692, 586	2, 794, 875
負債純資産合計	4, 764, 529	4, 852, 889

(2) 四半期損益計算書  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)
売上高	843,955	848,201
売上原価	477,367	454,321
売上総利益	366,587	393,880
販売費及び一般管理費	449,970	428,514
営業損失（△）	△83,382	△34,634
営業外収益		
受取利息	9	5
受取配当金	809	26
受取賃貸料	3,932	2,328
雑収入	1,292	1,442
営業外収益合計	6,044	3,802
営業外費用		
支払利息	8,669	6,149
雑損失	565	549
営業外費用合計	9,235	6,699
経常損失（△）	△86,574	△37,531
特別利益		
保険解約返戻金	26	—
匿名組合投資利益	13,370	—
特別利益合計	13,396	—
特別損失		
固定資産除却損	468	10,801
関係会社株式評価損	6,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	9,511
特別損失合計	6,468	20,313
税引前四半期純損失（△）	△79,645	△57,844
法人税、住民税及び事業税	2,379	2,229
法人税等調整額	△25,353	△18,143
法人税等合計	△22,973	△15,913
四半期純損失（△）	△56,672	△41,931

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失（△）	△79,645	△57,844
減価償却費	82,930	62,309
貸倒り引当金の増減額（△は減少）	△361	465
賞与引当金の増減額（△は減少）	21,000	21,000
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△5,633	△1,621
受取利息及び受取配当金	△819	△31
支払利息	8,669	6,149
匿名組合投資損益（△は益）	△13,370	—
固定資産除却損	468	10,801
関係会社株式評価損	6,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	9,511
売上債権の増減額（△は増加）	22,874	△39,777
たな卸資産の増減額（△は増加）	△24,512	△19,214
仕入債務の増減額（△は減少）	25,852	10,031
未払消費税等の増減額（△は減少）	△29,234	△38,956
その他	20,725	46,426
小計	34,943	9,249
利息及び配当金の受取額	819	31
利息の支払額	△1,668	△636
法人税等の支払額	△3,093	△65,180
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	30,999	△56,534
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△90,000	△90,000
有形固定資産の取得による支出	△3,818	△7,787
無形固定資産の取得による支出	△36,952	△25,176
その他	18,856	△818
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△111,914	△123,781
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△13,575	△9,492
配当金の支払額	△28,481	△29,712
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	7,943	△39,204
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△72,971	△219,520
現金及び現金同等物の期首残高	276,375	462,647
現金及び現金同等物の四半期末残高	203,404	243,126

**(4) 継続企業の前提に関する注記**

該当事項はありません。

**(5) セグメント情報**

(追加情報)

当第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

**1 報告セグメントの概要**

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行なう対象となっているものであります。

当社の事業内容は、ラスク、洋生菓子、その他焼菓子等、パンの製造並びに販売及びレストランの運営であり、その販売チャネルを基礎として、主に通信販売を行なう「P I S (Personal Intelligence System)事業」と、地域限定の店舗で対面販売を行なう「M I S (Marketing Intelligence System)事業」の2つを報告セグメントとしております。

**2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報**

当第1四半期累計期間(自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
	P I S事業	M I S事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	292, 455	555, 745	848, 201	—	848, 201
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	292, 455	555, 745	848, 201	—	848, 201
セグメント利益(△損失)	44, 875	20, 411	65, 287	△99, 921	△34, 634

(注) 1 セグメント利益の調整額△99, 921千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行なっております。

**3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報**

該当事項はありません。

**(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産及び販売の状況

###### ① 生産実績

当第1四半期会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	内訳	生産金額(千円)	前年同四半期比 (%)
P I S 事業	ラスク	188,996	94.8
	洋生菓子及びその他焼菓子等	4,245	147.8
	計	193,242	95.6
M I S 事業	洋生菓子及びその他焼菓子等	147,447	90.4
	パン	95,111	102.8
	計	242,558	94.9
合計		435,801	95.2

(注) 1 金額は、製造原価によっております。

2 「洋生菓子」と「その他焼菓子等」は管理上区分が困難であるため、一括して記載しております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

###### ② 販売実績

当第1四半期会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	内訳	販売金額(千円)	前年同四半期比 (%)
P I S 事業	ラスク	262,673	105.5
	その他焼菓子等	22,988	106.5
	洋生菓子	6,793	77.9
計		292,455	104.7
M I S 事業	ラスク	157,057	108.8
	パン	131,419	104.1
	洋生菓子	109,332	93.9
	料飲	82,316	91.5
	その他焼菓子等	75,620	86.3
計		555,745	98.4
合計		848,201	100.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれおりません。